

腸の手術を受けられる患者様へ

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/3

	1日目 入院日	2日目 手術前日	3日目 手術当日
目標 毎日看護師と評価します	☐ 入院生活についての疑問・不安を言える ☐ 看護師からの手術前説明を理解できる	☐ 看護師からの手術前説明を理解できる ☐ 腹痛がない	☐ 看護師からの手術前説明を理解できる ☐ 腹痛がない
活動範囲	☐ 特に制限はありません ☐ 入院中はリハビリを実施します		☐ 点滴を開始した後も手術室に行くまでは自由です (点滴が落ちていないなど、何か気がついたことがあれば教えてください) 
食事 飲水	☐ 低残渣食（腸に刺激のない食事）になります ・病院食以外のお食事は控えください	☐ 昼食を食べた後は食べることができません（水・お茶・スポーツドリンクは可） ☐ 21時までに栄養剤を2本飲んでください ☐ 麻酔科の医師の指示で水分摂取の可能な時間が決まります それまでは飲んでかまいません 	☐ 食べることはできません ☐ （ ）時まで、水・お茶・スポーツドリンクは飲めます ☐ 飲んだり食べたり出来ない時間に口が渴いた場合はうがいをしてください 
清潔	☐ シャワー浴ができます 	☐ シャワー浴をしてください 看護師と時間を調整してください	
ケア	☐ ガスを出しやすくするためのお薬が朝から始まります ※朝・昼・夕に2錠ずつ看護師が持ってきます 明日までの2日間のお薬です    	☐ 10時 下剤を飲みます（水薬250ml） ・すっぱい味がします ・30分くらいかけてゆっくり飲んでください ・効いてくるまでに3～10時間かかります ・まれに吐き気や腹痛が起こる場合があります ・その場合は看護師に知らせてください ☐ 場合によっては夕方に浣腸をすることもあります ☐ おへそのごみを取り除きます ☐ 内服薬がある方は（ ）日（朝・昼・夕）まで飲んでください ☐ 眠れない時は睡眠薬がありますので教えてください ☐ 抗生剤のお薬が2種類あります 朝・夕に3錠と4カプセルずつ看護師が持ってきます   	《手術前》 ☐ （ ）時 浣腸をします 便が出たら呼び出しボタンで知らせてください ☐ 手術前に点滴を始めます （2番目以降の方） ☐ 手術室に行く前に指輪・時計・入れ歯・めがねなど身につけているものは外してください ☐ 血栓を予防する靴下を履きます（病棟で用意します） ☐ 手術室までは歩いていきます（ ）時頃 ※場合によってはベッドで行きます 
検査	☐ 呼吸機能 ☐ 心電図 ☐ レントゲン ☐ 採血 の検査があります ※外来で検査が済んでいない方が対象です		
説明 指導	☐ 入院時に入院生活と治療計画書についての説明があります ☐ 喫煙されている方は禁煙しましょう ☐ 医師から手術についての説明があります （ / ）（ ）時 ☐ 看護師から手術前後の処置について説明があります 	☐ 麻酔科の医師、手術室の看護師の訪問があり、手術についての説明をします ・ハイケアユニットの看護師も訪問します ※時間がわからないのでなるべくお部屋でお過ごしください ☐ 処置やスケジュールなどわからないことは遠慮なくお知らせください ☐ ハイケアユニットに持参する物品を袋などに入れてまとめておいてください	☐ 処置については説明をしながら行います ※わからないことは遠慮なくお知らせください 

腸の手術を受けられる患者様へ

結腸直腸切除術パス【07006-00】

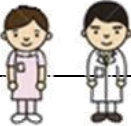
患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No2/3

	3日目 手術後	4日目 手術後1日目	5日目 手術後2日目	6日目 手術後3日目	7日目 手術後4日目
目標 毎日看護師と評価します	☐ 体温や脈、血圧などが安定している ☐ 鎮痛剤を使用して痛みが楽になったと言える ☐ ベッド上安静が保てる	☐ 体温や脈、血圧などが安定している ☐ 鎮痛剤を使用して痛みが楽になったと言える ☐ 看護師の付き添いのもと歩行することができる	☐ 鎮痛剤を使用して痛みが楽になったと言える ☐ 歩行ができる ☐ 食事摂取の注意点がわかる ☐ 排ガスがある ☐ 指導内容を理解できる	☐ 痛みが出ないように鎮痛剤を使用して活動できる ☐ 38℃以上の発熱や血液検査に異常がない ☐ 腸閉塞の症状（嘔気・嘔吐などがない） ☐ 食事摂取の注意点がわかる ☐ 排ガスがある	☐ 排ガス・排便がある ☐ 排便の調整方法を自分の言葉で言える ☐ 38℃以上の発熱や血液検査に異常がない ☐ 腸閉塞の症状（嘔気・嘔吐などがない） ☐ 指導内容を理解できる
活動範囲	☐ 翌日の回診まではベッド上安静になります ・自分で起き上がることはできませんが横を向いたり手足を動かすことはできます	☐ 回診後、看護師と一緒に歩行できます	☐ 積極的に活動しましょう		
食事 飲水	☐ 点滴をします 点滴は3日目まで続きます	☐ 医師の許可があれば水分をとることができます（水・お茶・スポーツドリンク）		☐ 医師の許可があれば食事開始となります	
清潔	☐ 温かいタオルで体を拭くことができます ☐ うがいや歯磨きもベッドの上で行うことができます 看護師がお手伝いします	☐ 回診前はベッドの上で洗面、歯磨きができます 温かいタオルで体を拭いたり、歩行が可能であれば、髪を洗うこともできます ※看護師がお手伝いします ☐ 尿の管が入っている部分をきれいにします	☐ タオルで体を拭きます		☐ お腹の管が抜ければシャワー浴ができます
排泄	☐ 尿の管が入ってきます 違和感など不快な場合はお知らせください ☐ 排便はベッドの上で便器やオムツを使用します	☐ 排便時はトイレに行くことができます		☐ 尿の管を抜きます	
安静 活動	☐ 心電図・酸素モニターをつけます ☐ 酸素吸入をします ☐ 点滴をします ☐ 血栓予防のための機械を使用します ☐ 背中に痛み止めの管が入ってきます	☐ 心電図・酸素モニターや酸素吸入を止めます 準備を行います ☐ 歩行ができれば足の機械や靴下を外します ☐ 点滴があります ☐ 背中の痛み止めを交換します	☐ 毎日回診があります	☐ 回診時に背中の痛み止めを抜きます	
検査		☐ レントゲン ☐ 採血 （ベッドの上で撮ります）		☐ レントゲン ☐ 採血	
説明 指導	☐ 床ずれ予防のために体の向きを変えるお手伝いをします ☐ 肺炎予防のために深呼吸を行ってください 痰が出る時にはなるべく痰を出してください ☐ 痛みや不快な症状は我慢せずお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします	☐ 回診後、血圧などを見ながら元のお部屋に戻る準備を行います ・ゆっくりと体を慣らしていきますが、辛い時にはお知らせください ☐ 看護師と一緒に歩行します ・腸の動きを良くする為に歩行することをお勧めしますが、体調に合わせて行います ☐ 痛みや不快な症状は我慢せずにお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします	☐ 痛みや不快な症状は我慢せずにお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします ☐ 「腸の手術をされた方へ」のパンフレットを使用して、手術の生活注意点を説明します ☐ 腸の動きを良くするために歩行の必要性を説明します	☐ 食事を摂取する時の注意点を説明します	☐ 排便が定期的にあるように調整方法を説明します

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

腸の手術を受けられる患者様へ

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No3/3

	8日目 手術後5日目	9日目 手術後6日目	10日目 手術後7日目	11日目 手術後8日目	12日～13日目 手術後9日目～10日目	14日目 退院日	
目標 毎日看護師と評価します	☐ 排ガス・排便がある ☐ 排便の調整方法を自分の言葉で言える ☐ 38℃以上の発熱や血液検査に異常がない ☐ 腸閉塞の症状（嘔気・嘔吐など）がない ☐ 指導内容を理解できる	☐ 退院後の生活注意点がわかる ☐ 腸閉塞の症状（嘔気・嘔吐など）がない ☐ 排便の調整方法を自分の言葉で言える 退院基準： 感染の徴候がない 食事摂取ができ、排便・排ガスがある				☐ 13日目 食事が摂取できる	☐ 退院できる
活動範囲							
食事 飲水							
清潔							
排泄							
ケア				☐ 医師の許可があれば、退院可能です		☐ 退院です 	
検査							
説明 指導		☐ 退院後の生活注意点や体調が悪化した時の受診方法を説明します 		※手術でとったものの顕微鏡検査の結果は、基本的に外来で聞くことになります 	次回外来は… / () です		

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります